

令和8年第1回嬉野市議会定例会

一般質問通告書

嬉野市議会

令和8年第1回嬉野市議会定例会一般質問通告書

発言 順番	議席 番号	質問者氏名	質 問 事 項 及 び 要 旨	頁番号
1	3	水山洋輔	塩田庁舎及び周辺施設の利活用について	1
			観光施策について	
			ごみの分別・処分について	
2	7	諸上栄大	まちづくりについて	3
3	12	森田明彦	市長就任後の政策展開について	5
			国道34号今寺バス停から一位原間、国道の諸問題について	
			防火水槽の水道引き込みへの置き換えについて	
4	8	諸井義人	国道及び県道の整備推進について	6
			治水対策について	
5	14	芦塚典子	まちづくり政策について	7
6	13	辻 浩一	新幹線フル規格整備について	8
			温泉源泉の保護について	
			市立学校の将来について	
			外国人の土地取得について	
			外国人労働者について	
7	11	川内聖二	市長のマニフェストについて	10
			市内の道路について	
			西九州新幹線について	
8	5	古川英子	交差点における雑草の処理について	11
			戦後100周年に向けて	
9	1	太田政信	有害鳥獣対策について	12
			消防団について	
			市民の働き方について	
			うれしか一どについて	

発言 順番	議席 番号	質問者氏名	質 問 事 項 及 び 要 旨	頁番号
10	4	大串友則	市政運営について	14
			吉田中学校の合併に対する陳情について	
11	15	梶原睦也	山口市長の4つの基本政策について	16
			物価高騰対策について	
			人口減少対策と移住支援について	
			嬉野・塩田両地域の発展戦略について	
12	9	山口虎太郎	温泉資源について	17
			茶業振興策について	
			新庁舎周辺整備について	
			医療センター跡地活用について	
13	2	團 隆則	空き家問題について	18
			農地水環境整備について	
			介護予防について	
			嬉野市社会文化会館について	
			河川ごみについて	
14	6	阿部愛子	水道行政について	20
			中学校給食費無償化について	
			照明の設置でまちを明るく安全にする対策について	
15	10	宮崎良平	基本理念について	22
			前市長が進めてきたこれまでの施策について	
			市長の国家観について	

一般質問 日程	3月12日	水山洋輔、諸上栄大、森田明彦、諸井義人、芦塚典子
	3月16日	辻浩一、川内聖二、古川英子、太田政信、大串友則
	3月17日	梶原睦也、山口虎太郎、團隆則、阿部愛子、宮崎良平

様式1号

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和 8年 2月 16日

通告者(議席番号 3 番)

水 山 洋 輔

嬉野市議会議長 田中 政司 様

記

No. 1

質問の相手	質 問 の 事 項	質 問 の 要 旨
市長 教育長	1. 塩田庁舎及び周辺施設の 利活用について	<p>塩田庁舎の利活用については、基本計画が令和7年第4回定例会で議決し、現時点では基本設計に取り掛かられているが、本基本計画はあくまでも塩田庁舎の建物についての利活用計画である。</p> <p>基本計画には地域交流拠点として整備方針を示されているものの、図書館・歴史民俗資料館、社会文化会館【リバティ】、中央公園、塩田津、バス停、楠風館、買い物環境などとの連携や環境形成については、縦割り行政ではなく、全庁を挙げて横断的に取り組まなければならないと考える。そこで塩田庁舎の建物及び周辺施設の利活用について以下の質問を行う。</p> <p>① 塩田庁舎利活用と周辺施設の整備ならびに買い物環境など全体的なまちづくりをどのように考えているのか伺う。</p> <p>② 行政窓口機能について、担当課毎に様々な申請、手続き、相談業務を行っているが、全ての申請、手続き、相談業務を塩田庁舎で行い完結できる体制になるのか伺う。</p> <p>③ 令和7年9月に行われた基本計画(案)の市民説明会の際に、各団体へヒアリングを行うと言われていたが、実施されたのか伺う。</p> <p>④ 分散している塩田庁舎周辺の3箇所のバス停集約について、事業者との協議を行い進めていく考えはあるのか伺う。</p> <p>⑤ 図書館・歴史民俗資料館の移転を検討、とあるが、歴史民俗資料館については、嬉野市の歴史(塩田津や長崎街道)を学べる施設としてリニューアルを図るべきと考えるが検討はできないか伺う。</p> <p>⑥ 市長は、報道等の取材にて、「最初に取り組むべき課題として、塩田地区の買い物環境の改善」を挙げられていたが、具体的にどのような対応を行っていくのか伺う。</p>
市長	2. 観光施策について	<p>本年は、佐賀県にて全国お茶まつりが開催される。全国から関係者の来佐により宿泊や観光といった面で本市にも経済効果</p>

<p>市長 教育長</p>	<p>3. ごみの分別・処分について</p>	<p>を期待したいところである。また本市は多くの偉人との関係性もある。そこで観光施策について以下の質問を行う。</p> <p>① 昨年佐賀県立美術館にて開催された、売茶翁と若冲展が盛況のうちに終了したが、本市も売茶翁にゆかりのある地域である。全国お茶まつりと売茶翁生誕 350 年を関連させた企画を県や他市町などと連携して実施してはどうか、考えを伺う。</p> <p>② 塩田町出身で陶磁器デザイナーとして有名な森正洋氏が来年（2027 年）に生誕 100 年となる。近隣の波佐見町では町の偉人として紹介をされているが、本市ゆかりの人物であり肥前窯業を盛り上げるためにも波佐見町と連携した生誕記念事業を検討するべきと思うが、考えを伺う。</p> <p>モバイルバッテリー等が原因によるごみ処理場の火災等が各地で発生する事例があるなかで、佐賀西部クリーンセンターにおいても火災や爆発事故の事例が報告されている。広域施設組合の構成市として対策が必要と考えるが、ごみの分別・処分方法について以下の質問を行う。</p> <p>① 乾電池（充電電池、リチウム電池等含む）や蛍光灯などいわゆる有害ごみについて市役所等にて拠点回収の検討をできないか伺う。</p> <p>② 家庭や学校、事業所において、ごみの減量化、分別に対する啓発活動等の取り組みを伺う。</p> <p>③ 現在市庁舎で利用している什器等については、どのような処分を考えているのか伺う。</p>
-------------------	------------------------	--

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和8年2月16日

通告者(議席番号 7番)

諸上 栄大

嬉野市議会議長 様

記

No. 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	1. まちづくりについて	<p>嬉野市長選挙公報より、下記の点について伺う。</p> <p>1) 「市民総参加型のまちづくり」について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 両町のバランスのある行政投資について、今までの事業に対する所感と今後の取り組みを伺う。 ② 動く市役所の実現へ向けた取り組みをどのように考えているのか伺う。 ③ スマホ市役所の導入とは具体的にどのような内容なのか伺う。 ④ 納得と賑わいの塩田庁舎周辺整備について、納得とはどのような事を指すのか。また、塩田庁舎利活用に関しては基本計画も出来上がっている状況だが、その内容や今後のスケジュールについては、計画通りに遂行できるのか伺う。 <p>2) 「子どもの笑顔倍増！人生100年時代を見据えた住みよいまち」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① シニアスポーツの聖地、スポーツ施設のナイター整備の設置について具体的な構想を伺う。 ② 高齢者でも楽しめるeスポーツ×福祉とは何か。また、楽しく学ぶプログラミング教育について伺う。 ③ 買い物する店舗誘致、買い物支援、移動支援による日常生活支援を具体的にどのように考えているのか伺う。 ④ いつまでも安心して暮らせる、終活支援とあるが、具体的な考えを伺う。 ⑤ 人生100年時代を見据えた住みよいまちづくりの推進のためには、地域包括ケアシステムの深化や、地域共生社会の構築、また、健康寿命の延伸も重要な要素であると考えますが、福祉や健康づくり、地域医療の在り方等についての考えを伺う。

		<p>3) 「帰ってきたくなる、誇り高い嬉野市」について</p> <ul style="list-style-type: none">① ご当地バスで駅前から嬉野泊の観光地づくりの具体的な構想について伺う。② 帰ってきたくなる、とあるが、その対象をどのように考えているのか。また、シビックプライドの醸成も必要と考えるがいかがか。 <p>4) 「県との連携強化で、市政を前進！」について</p> <ul style="list-style-type: none">① 県との連携による源泉資源保護とあるが、この件に関しては、昨年 12 月に一部報道があったが、具体的な考えについて伺う。② 新幹線全線開通に向け、賑わいのある駅前整備についての考えを伺う。
--	--	--

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和 8年 2月 16日

通告者(議席番号 12 番)

森田明彦

嬉野市議会議長 様

記

No. 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	<p>1. 市長就任後の政策展開について</p> <p>2. 国道34号今寺バス停から一位原間、国道の諸問題について</p> <p>3. 防火水槽の水道引き込みへの置き換えについて</p>	<p>① 市の抱える問題が山積していると考えてるが、就任後、まず取り組みたい事案を伺う。</p> <p>② 出馬表明後、政策展開に関し、県との連携をもって進める旨の発言を幾度も発信されてきたが、今考えておられる具体的な連携事案は何か。</p> <p>③ 西九州新幹線暫定開業、そして嬉野温泉駅開業後、3年が経過し、観光消費額も順調に伸びている。武雄温泉から新鳥栖間については嬉野市、嬉野市議会も当初から佐賀駅経由、全線フル規格での開業を訴えて来た。市長も基本的には同じ考えであると認識しているが、間違いないか。 また、今後の要望活動について、沿線5市との連携他、考えがあれば伺う。</p> <p>① 今寺バス停から三本桜交差点間の歩道設置について進捗状況は。</p> <p>② 同じく国道から嬉野高校北側、下宿に向かう今寺公民館前交差点の改良工事の進捗状況は。</p> <p>③ また、先月、地元選出国會議員、前国交省副大臣も言及された一位原交差点の渋滞緩和策について、国の動向を把握しているか伺う。</p> <p>令和2年10月28日付の、当時の今寺区長からの要望書によると、地区に設置の防火水槽は川からの自然水引き込みとなっており、砂利等の流入がある。 今後、近隣での火災発生の際、消火活動に支障を来す恐れがあるため、砂利の流入がない、水道引き込みの防火水槽への置き換えをお願いされていた。 ご承知のように現在、地域では大型商業施設や住宅地の開発も進んでおり、早急に取り組むべきと考えるが如何か。</p>

様式1号

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和8年2月16日

通告者(議席番号 8 番)

諸井 義人

嬉野市議会議長 様

記

No. 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	1. 国道及び県道の整備推進について	選挙公報などには、佐賀県との連携強化で、市政を前進と謳われているが、具体的にどう進めていくのか伺う。 ① 嬉野市の要望事項にある国道498号線の町分地区から下久間地区の現道拡幅について進展を伺う。 ② 国道498号線の鹿島―武雄間の整備について、ルート帯が示されて間もなく2年経過するが、その後の進捗状況を伺う。 ③ 火の口交差点から県道346号嬉野下宿塩田線の拡幅延伸を地元から要望されているが、県との連携強化により、どのように推進するか伺う。
市長	2. 治水対策について	治水対策の推進として河川改修や排水ポンプの機能向上を謳われているが、具体的にどうされるか伺う。 ① 不動山ダムの建設についてどう考えるか。 ② 頭首工及び転倒堰の改修について伺う。 ③ 排水ポンプの増設強化について伺う。

様式1号

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和 8年 2月 16日

通告者(議席番号 14 番)

芦塚 典子

嬉野市議会議長 様

記

No. 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長 教育長	1. まちづくり政策について	<p>今議会は、先の市長・市議選後初の定例会であるため、新市長が掲げられた、「市民総参加型のまちづくり」、「子どもの笑顔倍増」、「誇り高い嬉野市」、「県との連携強化で、市政を前進」、このような力強い公約に対して、市政をどのような方針で進められるのか、それぞれ具体的な取り組みを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 安心して子育てができるまち<ol style="list-style-type: none">① 妊娠、出産、保育、教育などで充実した支援策で子どもまんなか社会の実現について。② 教育環境の整備と学力向上に対する施策について。2. 働きがいのある仕事で活気あふれるまち<ol style="list-style-type: none">① 農業、茶業、窯業等の地場産業の振興について。② 広域道路の整備と企業誘致を図った雇用の創出について。③ 嬉野泊を中心とした観光地作りと、新しさと歴史が調和する景観整備について。3. 地域目線、地域が主役のまちづくり<ol style="list-style-type: none">① 塩田津の街並みの保存活用の推進について。② 草払いや被り木伐採の負担軽減を図った地域活動サポートについて。4. 暮らし第一、住みやすい実感のまち<ol style="list-style-type: none">① 移動手段の確保、買い物支援、グランドゴルフなどの趣味を楽しめる環境整備について。5. 命と財産を守り安心安全なまち<ol style="list-style-type: none">① 県と連携した治水対策の防災減災対策について。② 道路インフラ整備について。6. 市民の声が届く開かれた市政へ<ol style="list-style-type: none">① 対話を通じ意見をくみ上げた政策立案について。② 利用しやすく身近に感じられる市役所窓口について。③ 市民サービスの利便性向上について。

様式1号

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和 8年 2月16日

通告者(議席番号 13番)

辻 浩一

嬉野市議会議長 様

記

No. 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	1. 新幹線フル規格整備について	新幹線フル規格早期整備の必要性について、市長の認識を伺う。 ① 嬉野市は現在、新幹線が部分開業であっても効果があったと考えるが市長の認識を伺う。 ② 整備が進み、それに伴い道路整備が進めば、交流人口の増加や佐賀県のみならず西九州の発展に繋がると思うが、市長の認識を伺う。 ③ 県との連携はどう考えるのか伺う。
市長	2. 温泉源泉の保護について	市内宿泊者の増加等により、源泉の水位の低下が課題となっている。そこで次のことを伺う。 ①水位の低下を防ぐために対策が必要だと思うが、現在とっている対策は何か伺う。 ②源泉譲渡の話が出てきているが、市長の所感を伺う。
市長 教育長	3. 市立学校の将来について	少子化により、生徒数・児童数が減少している。これからの学校の将来像をどうとらえているか次のことを伺う ①学校とコミュニティの関係をどう考えるのか伺う。 ②統廃合を考えているのか。 ③そうなった場合、校舎の利活用は考えられるのか伺う。
市長	4. 外国人の土地取得について	いわゆる重要土地等調査法が制定されたが、課題も多い。そこで次のことを伺う。 ① 重要土地等調査法の趣旨をどう認識しているか伺う。 ② 土葬墓地の用地取得は、墓地埋葬法の下では許可のないものはできないと思うが、市長の見解を伺う。
市長	5. 外国人労働者について	人口減少に伴い、労働力として外国人の増加がみられる。そのなかで課題も多い。そこで次のことを伺う。 ①人手不足の解消とはいえ、制限なく入国させ活用することについての見解を伺う。

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
		<p>②低賃金の外国人労働者の就労により、日本人労働者の賃金にも影響しているのではないかと考えるがいかがか。また、日本人労働者雇用抑制に繋がっているのではないと思うがいかがか。</p>

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和8年2月16日

通告者(議席番号 11 番)

川内 聖二

嬉野市議会議長 様

記

No. 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	1.市長のマニフェストについて	<p>今回、市長選挙を終え市長に就任された。市長が政策を掲げた選挙公報等に記載のマニフェストについて伺う。</p> <p>① 選挙運動用ビラのうち、01「市民総参加型のまちづくり」の5項目について詳細な説明を伺う。</p> <p>② 02「子どもの笑顔倍増！人生100年時代を見据えた住みよいまち」の5項目について詳細な説明を伺う。</p> <p>③ 03「帰ってきたくなる、誇り高い嬉野市」の4項目について詳細な説明を伺う。</p> <p>④ 04「県との連携強化で、市政を前進！」の5項目について詳細な説明を伺う。</p>
市長	2.市内の道路について	<p>市内の市道及び県道について伺う。</p> <p>① 市道をアスファルトやインターロッキングで整備が行われている路線があるが、経年劣化により凹凸や骨材の剥離が激しい箇所の改修について伺う。</p> <p>② 市道築城大橋線及び下宿今寺線の改良について伺う。</p> <p>③ 現在、今寺地区の国道34号沿いに大型商業施設が出店されている。市道一丁田線から嬉野温泉駅方向に向けて新しい道路の整備構想を伺う。</p> <p>④ 一般県道嬉野下宿塩田線の火の口交差点から唐泉橋までの整備について伺う。</p>
市長	3.西九州新幹線について	<p>西九州新幹線が開業して、3月23日で3年半となるが、現在でも新鳥栖駅から武雄温泉駅まで51km区間の整備の方向性が明確にされていない状況である。</p> <p>① このことへの市長の所感を伺う。</p>

様式1号

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和8年2月18日

通告者(議席番号 5 番)

古川 英子

嬉野市議会議長 様

記

No. 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	1. 交差点における雑草の処理について	信号がない交差点付近の雑草が生い茂り視野の確保ができにくい。毎年定期的な除草作業は予定していないのか ① 下宿甲の嬉野市所有の第7地区701号土地。(末廣屋菓子舗横) ② 嬉野消防署前の三叉路の土地。(浄化センター敷地) ③ 令和6年6月議会にて、嬉野浄化センター「みずすまし」横の塩田川沿いの桜の下の雑草が議会後1回除草されたが以後そのままであり、毎回何かの方法で取り上げない限り除草されないのか伺う。
市長	2. 戦後100周年に向けて	戦後80年が過ぎ遺族の方々が高齢になり、地域によっては孫の代に変わり遺族会の活動を継続しているということを知ることが、嬉野市での現状を伺う。 ① 嬉野市における遺族会の地区ごとの人数を伺う。 ② 嬉野市における慰霊碑等の数と場所を伺う。 ③ 現在の清掃活動の現状はいかがか。

様式1号

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和 8年 2月 20 日

通告者(議席番号 1 番) 太田 政信

嬉野市議会議長 様

記

No. 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	1. 有害鳥獣対策について	<p>① 10年以上狩猟免許取得費用の補助が行われているが、10年間で何人に補助を行い、10年前と比べて何人猟友会員は増えているか。</p> <p>② 免許の更新や継続は個人の判断だが、免許を持ち続けてもらうために支援等はできないか。更新しない人たちはなぜ更新しないのか、市はどのように認識しているか。</p> <p>③ 捕獲できていない人に、講習の案内や被害の多い集落の紹介などしてはどうか。</p> <p>④ 箱罟を毎年配布しているが、配布された箱罟が使われているか、またその箱罟で捕まっているか把握しているか。</p> <p>⑤ 10年間で配布された箱罟はかなりの数だと思うが、捕獲数の増減についてどう思われているか。</p> <p>⑥ イノシシ対策は柵を張ったら終わりではなく、管理、捕獲がセットと考える。集落の放棄果樹、早生品種のヒコバエ等は野生動物が好むため、放置している人や集落に対し、指導や交付金の停止など検討できないか。</p> <p>⑦ これまで補助金を使って設置されたワイヤーメッシュ(以下「WM」)の延長距離は何kmか。きちんと設置されているか、また現地調査は行われているか。</p> <p>⑧ 高齢化等で耕作されていない畑に設置したWM等は、今後回収するのにか。回収した後の市の対応について伺う。</p> <p>⑨ 設置されたWMに固定資産税等は発生しているか。</p> <p>⑩ 山間部の畑にWMを設置し終わり餌場が減ったことで、イノシシの生息範囲が広がろうとしている。今後被害が広がらないように新たな対策を考えているか。</p> <p>⑪ 狩猟における罟の設置数は一人あたり30個までと制限されているが、イノシシやアライグマが増えている現状に個数の制限を解除できないか。</p> <p>⑫ 有害鳥獣対策において、有害駆除従事者のスキルアップだけでなく、住民の鳥獣害対策に対する理解、啓発も必要だと思うが、今後計画する考案があるか伺う。</p> <p>⑬ 中山間地域等直接支払交付金、農地・水保全管理支払交付金、防護柵を設置する要件に「狩猟免許の取得」「鳥獣害対策研修会参加」などを加え、防御したら終わりではなく捕獲のステップにすすめるような対策をしたらどうか。</p> <p>⑭ イノシシ対策は地域防災にもつながると考えるが、地域に1人は従事者を置き、地域と捕獲者のパイプ役を設置することはできないか。地域で捕獲者の登録料や報酬を負担して地域の猟師を設置してはどうか。</p>

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	2. 消防団について	<p>① 令和4年12月定例会の一般質問で年末警戒について言及されていたが、負担の大きい年末警戒・出初式・訓練について廃止してはどうか。</p> <p>② 消防団の報酬について、900人の団員に年額報酬として1,800万円、出動報酬として570万円を計上されているが、消防団員にきちんと届いているといえるのか。また、いわゆる幽霊団員分の報酬も計上されることになるが、実働率の低い団員への報酬はどうなっているか。</p> <p>③ 900人の消防団員のうち、1年以内にあった火災、災害に対して何人が出動できたのか。実働数は把握できているか。</p> <p>④ 実働率が低い場合、部の数を減らしたり、団員数を減らし、街で働いている元団員や支援団員をもっと増やしてはどうか。設備の管理もしやすく保険や基金も最適化されると考えるか。</p> <p>⑤ 消防団員は非常勤特別職の地方公務員となるが、市は報酬から源泉徴収を行い、源泉徴収票を発行しているのか。</p> <p>⑥ 市外在住の消防団員がいる場合、その団員が居住する市町村に対して給与支払報告書を提出しているのか。またその逆で市内在住者が市外の消防団に所属している場合、その市町村から給与支払報告書が提出されているのか。</p>
市長	3. 市民の働き方について	<p>① 市内複数箇所交通渋滞が平日の朝夕に発生する。道路整備の前にサマータイムを導入し、通勤時間の分散を促し、交通渋滞の緩和や通学時間に車を減らす政策などを市独自でできないか。</p> <p>② 就業時間を早める企業に対し、うれしカードのポイント付与、入浴券配布など、市内経済を循環させることができるような取り組みはできないか。</p> <p>③ どの企業にもあてはまるかわからないが、ノンストレスで出勤すれば生産性が上がり結果的に売り上げ増への貢献や、かけた費用以上の税収増になるのではないか。</p>
市長	4. うれしカードについて	<p>① 市民同士がポイントを贈り合ったり(割り勘)、家族での合算、選挙に行ったら10ポイント、ITスキル向上のためタイピング技能検定の合格点で10ポイント、議会QRを読み込んだら10ポイントなど、市民が自発的に自己投資につながるような活動をしたらポイントが入るような仕組みを作れないか。</p> <p>② ポイント使用の有効期限を見直し、常に消費を繰り返す仕組みなど検討してはどうか。</p> <p>③ うれしカード加盟店を増やすため、システムの改良で個人QRを持ち、加盟店など関係なく商品サービスの提供で払えるようにならないか。</p> <p>④ 事業者登録さえすればポイント付与や換金できるようにできないか。</p> <p>⑤ ポイ活は日本独特の文化と言え、健康・学習・投票率向上・地域参加へ転用できる可能性がある。嬉野市が全国初の「行動報酬型(インセンティブ型)地域通貨」に挑戦することはできないか。うれしカードを単なるポイントカードから、市民行動を変える“政策ツール”へ進化させる考えはあるか伺う。</p>

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和 8年 2月 20日

通告者(議席番号 4番)

大串 友則

嬉野市議会議長 様

記

No. 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	1. 市政運営について	<p>1. 山口新市長の政治姿勢と「対話」の具体化について 山口市長は就任にあたり「市民との対話」を掲げられた。これまで以上に市民の声が届く市政を目指す上で、以下の点を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 市長が考える「市民総参加型のまちづくり」の具体的な仕組みを伺う。 (2) 公約実現には現場職員の意欲が不可欠である。組織の活性化に向けてどのようなリーダーシップを発揮されるのか伺う。 <p>2. 「多子世帯支援の拡充」の実現に向けたロードマップについて 現在、3～5歳児は国の制度で無償化されているが、保護者が最も負担を感じているのは0～2歳児の保育料である。多子世帯への支援として、0～2歳児の保育料の完全無償化に向けて以下の点を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 昨年、嬉野市保育料検討協議会が開催されていたと思うが、進捗状況伺う。 (2) 現時点での市長の構想を伺う。 (3) 恒久的な財源をどう捻出するのか。既存事業の見直しや基金の活用、あるいは国・県への働きかけについてどう考えているか。 (4) 仮に無償化を進めた場合、利用ニーズの増大が予想される。保育士の確保や処遇改善など、保育の質を維持する対策への取り組みを伺う。 <p>3. 嬉野市の産業（茶・焼き物・観光）の振興と若者の定住について 子育て支援を充実させても、親世代の「働く場所」がなければ定住には結びつかないと考えるが、市長の所管を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 西九州新幹線開業後の効果を市内全域へ波及させる

市長 教育長	2. 吉田中学校の合併に対する陳情について	<p>ための具体的な戦略を考えているか。市長の経済ビジョンを伺う。</p> <p>(2) お茶や温泉文化、焼き物を活かした若手起業家への支援や後継者不足対策、移住定住を促す施策の強化について市長の考えを伺う。</p> <p>令和7年第4回定例会にて、「吉田中学校のより良い未来を考える会」から「吉田中学校の合併に関する陳情」が提出されたが、市長の所感を伺う。</p>
-----------	-----------------------	---

様式1号

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和 8 年 2 月 24 日

通告者(議席番号 15 番)

梶原 睦也

嬉野市議会議長 様

記

No. 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	1. 山口市長の4つの基本政策について	市長選にあたって選挙公報などで示された4つの基本政策の概要を伺う。
市長	2. 物価高騰対策について	長引く物価高騰は、食料品やエネルギー価格の上昇を通じて市民生活や地域経済に大きな影響を与えているが、その対策について伺う。 ① 物価高騰が市民生活・地域経済に与える影響 ② 低所得者・子育て世帯への負担軽減策 ③ 高齢者世帯への生活支援 ④ 各事業者等への支援策 ⑤ 国の交付金活用と市独自支援の考え方
市長	3. 人口減少対策と移住支援について	人口減少は本市の重要課題であり、若者・子育て世代の定住促進の強化が不可欠であるため、これに係る諸対策について伺う。 ① 人口減少の現状認識 ② 移住定住に対する対策 ③ 子育て世代の支援策（医療費の完全無償化や保育料の完全無償化） ④ 住宅確保・空き家活用支援策（家賃補助や空き家バンクへの取り組み）
市長	4. 嬉野・塩田両地域の発展戦略について	嬉野・塩田両地域の特性を生かした均衡ある発展が重要であり市長の地域ビジョンを伺う。 ① 両地域の現状認識と地域振興策についての認識 ② 地域間バランス確保の考え方

様式1号

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和 8年 2月 24日

通告者(議席番号 9番)

山口 虎太郎

嬉野市議会議長 様

記

No. 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	1.温泉資源について	① 令和7年度の前市長の答弁の中で、「新たな情報共有の場を設定していく」とあったが、現在までの取組はどのようなものか伺う。 ② 前市長は、温泉水位の回復等を勘案し、温泉集中管理に関しては難しいという趣旨の答弁をされたが、源泉水位の低下問題は解決できるのか伺う。 ③ 温泉資源保護のための県との話し合いは、どの程度進んでいるのか伺う。
市長	2.茶業振興策について	① 嬉野市の全国お茶まつりの開催にむけ、現在の準備状況を伺う。 ② 県との全国お茶まつり開催にむけた進捗状況はどうなっているか伺う。 ③ 今年の新茶へむけ基幹産業として継続していくための政策計画を伺う。
市長	3.新庁舎周辺整備について	① 周辺整備についてはどのような計画があるか伺う。 ② 公会堂跡地に故森永文二氏の銅像と全国温泉コンクールの記念碑があるが、新庁舎整備計画の中で移設等の考えはあるか伺う。
市長	4.医療センター跡地活用について	① 医療センター跡地活用について今後に向けた考えを伺う。

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和 8 年 2 月 24 日

通告者(議席番号 2 番)

團 隆則

嬉野市議会議長 様

記

No. 1

質問の相手	質 問 の 事 項	質 問 の 要 旨
市長	1. 空き家問題について	<p>1 嬉野市内の空き家の利活用について</p> <p>① 嬉野市内における直近で最新の空き家の件数及び1人世帯の件数の調査状況を伺う。</p> <p>② 嬉野市内で、老朽化などで危険を及ぼしている空き家などの対応を嬉野市としてはどういう形で把握しているのか。</p> <p>③ 住める空き家の現状について、空き家バンクの登録また売買状況を伺う。</p> <p>④ 1人世帯など空き家予備軍に対しての空き家バンクに関するアプローチは可能か。また嬉野市独自で対策はしているか。</p> <p>⑤ 空き家を、介護予防等や各世代間・地域交流としての地域サロン、また創業支援など、嬉野市として施策を考えているのか。</p>
市長	2. 農地水環境整備について	<p>1 吉田川・塩田川の河川について</p> <p>① 下野区・下吉田区の水田において、近年給水量の不足が発生している。過去5年間の当該地区の水不足発生状況について把握しているか。</p> <p>② 吉田川・塩田川におけるせきや用水施設の整備・改修について、優先順位や判断基準は定められているのか。 また、老朽化率や点検体制について現状を伺う。</p> <p>③ 当該地区の住民より、老朽化しているせきやU字溝の影響で水の供給が不足しているとの話も聞いている。老朽化している箇所(止水板から水がもれている箇所など)の修繕及び新設費用は市の補助等があるのか。</p> <p>④ 改修が困難な箇所について、嬉野市はどのような取組を行っているのか伺う。</p>

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	3. 介護予防について	<p>1 嬉野市の介護保険及び介護予防の現状について</p> <p>① 嬉野市では総人口は減少、高齢化率は上がっている現状であり、後期高齢者の比率、1人世帯、認知機能低下、フレイルなど介護予防を実施していく上でリスクとなる構造について市としての考えを伺う。</p> <p>② 介護保険要介護等認定者数及び介護保険の区分ごとの割合、また介護保険料の推移について最新のデータはどうなっているか。</p> <p>③ 令和6年～令和8年度の嬉野市高齢者保健福祉計画では、平成30年度から要介護等認定者数は横ばいである。 現状嬉野市では多様な介護予防事業があるが、要支援・要介護認定者との相関はあるか。</p> <p>④ 介護予防事業参加前後でアウトカム指標となる握力、歩行速度など評価測定を行い、効果検証を実施しているか。</p>
市長	4. 嬉野市社会文化会館について	<p>1 社会文化会館（リパティ）のメインアリーナ・サブアリーナの利用状況について</p> <p>① リパティの市外利用者の割合、営利目的での利用件数及び営利目的での利用者が嬉野市内に宿泊しているのか伺う。（市内宿泊時、市内住民と同じ料金で利用可能なため）</p> <p>② 直近3年の利用率推移、市内利用者、市外利用者の比率について伺う。</p> <p>③ 市外居住者等の割り増し・営利目的利用者の加算により、市外利用者の利用抑制は起きていないか。</p>
市長	5. 河川ごみについて	<p>1 嬉野市内の河川ごみ環境整備について</p> <p>① 塩田川(式浪橋より上流の区域)で近隣住民が自費で河川の清掃作業・草刈り作業(市道にかかる草木などの草刈り)を行っている現状である。嬉野市全体のボランティア清掃の実態把握はしているか。また、そういった方への支援制度は存在するのか。</p> <p>② 河川の環境に関して苦情・通報件数の推移を伺う。</p> <p>③ 市内河川の清掃管理区分はどうなっているか。（市管理/県管理/国管理）</p> <p>④ 管理者が県・国の場合、市としての清掃等の要望・連携実績は過去あるのか。</p> <p>⑤ 年間の清掃回数・予算額、また清掃作業の委託先を伺う。</p>

様式1号

一 般 質 問 通 告 書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和 8 年 2 月 24 日

通告者(議席番号 6 番) 阿部 愛子

嬉野市議会議長 様

記

No. 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	1. 水道行政について	<p>4月から水道料金が値上げされる。</p> <p>①佐賀西部広域水道企業団の給水区域である4市3町の中で嬉野市の値上げ幅が一番大きく、他の市町に比べて市民の負担は非常に重いものとなる。</p> <p>武雄市では令和7年12月分と令和8年1月分の水道料金を無料化。佐賀市では令和8年2月から5月まで4カ月分の水道料金基本料金を減免し、鹿島市では令和8年3月か4月の請求分で基本料金2,300円(税抜き)を減免し、いずれも物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金が活用される。</p> <p>4月からの値上げによる急激な負担増で、市民生活に痛みをもたらすことのないよう、嬉野市でも武雄市などのような支援策を講じる考えがないか伺う。</p> <p>②水道管口径を20ミリから13ミリに変更することで新しい料金体系の基本料金が半額ほどになる。武雄市や江北町は口径を小さくする減径工事費に対し1万円を上限に補助をしているが、嬉野市でもこの負担軽減策を実施できないか伺う。</p> <p>③水道管の口径13ミリで使用水量が20立方メートルの場合、現在の水道料金は税込みで3,740円であるが、今年令和8年4月から令和10年3月までの2年間は暫定5,181円となり、1,441円の値上げとなる。</p> <p>武雄市の671円、白石町の231円の値上げに比べると、嬉野市はかなり大きな値上げである。</p> <p>そこで、例えば令和8年4月から3月までの1年間、値上げ額1,441円のうち半分でも市による独自の激変緩和など、先述の2つの提案以外に、柔軟な支援策をとることを考えられないか伺う。</p>

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長 教育長	2. 中学校給食費無償化について	<p>令和8年1月9日の臨時議会で、物価高騰対応重点支援地方創成生臨時交付金1,867万円を活用し、小学生4,500円、中学生5,200円の給食費保護者負担を1月から3月まで無償とすることが決まり、保護者から大変喜ばれている。</p> <p>4月からは国・県の財源により小学校の給食費が無償化され、中学校の給食費無償化についても国は検討するとしているが、嬉野市としてふるさと応援寄附金基金や財政調整基金などの財源を活用して、中学校の給食費無償化の検討ができないか伺う。</p>
市長	3. 照明の設置でまちを明るく安全にする対策について	<p>嬉野の温泉街を一步離れると住宅地に通じる道路が非常に暗く感じられる。井手川内地区の肥前夢街道へ向かう交差点付近は信号機の明かりしかなく「夜は暗くて歩行者が見えない」「子どもの通学に危険を感じる」という不安の声が寄せられている。街灯など照明を設置し明るくできないか伺う。</p>

様式1号

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和 8年 2月 24日

通告者(議席番号 10番) 宮崎 良平

嬉野市議会議長 田中 政司様

記

No. 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	1. 基本理念について	①選挙期間中4つの基本理念を掲げておられたが、この4つの基本理念 1. 市民総参加型のまちづくり 2. 子どもの笑顔倍増！人生100年時代を見据えた住みよいまち 3. 帰ってきたくなる、誇り高い嬉野市 4. 県との連携強化で、市政を前進！ について一つ一つの詳細を伺う。
市長	2. 前市長が進めてきたこれまでの施策について	①前市長の下、これまで進めてこられた施策（行財政改革、防災計画、教育、まちづくり、商工業、農業等）についてどのようにお考えか。また政策の見直し、計画の中止等も想定されているのかを伺う。
市長	3. 市長の国家観について	①国と地域という視点で見ると、自治体は国の一部であり、国内外の大きな潮流の影響を避けて通れないものとする。 そこで、市長として国家と地方自治体をどのように認識し、どのような国家観をお持ちなのかを伺う。